

学位論文審査の要旨

論文提出者	漆川 京太
論文審査委員	(主査) 朝日大学歯学部 教授 藤原 周 (副査) 朝日大学歯学部 教授 勝又 明敏 (副査) 朝日大学歯学部 教授 友藤 孝明
論文題目	口腔内装置で採得される食品破砕振動の評価
<p>食事の際、食感が重要であることは広く認知され、おいしさに対する重要な要因である。食感のない食事に擬似的な食感を与えることができれば、通常の食事が難しい人の食の QOL の向上に寄与することができる。</p> <p>本研究は、疑似的食感を与えるために被験食品の破砕、咀嚼および貫入時に発生する持続的な振動であるクラック振動を口腔内で採得した。精度高いクラック振動の採得が可能な口腔内振動感知装置の開発は 2 種類の設計の異なる口腔内振動感知装置で採得されるクラック振動の比較検討を行った。次いで、官能評価によって分類された被験食品によるクラック振動の差を客観的に評価することを目的に口腔内振動感知装置を用い、各被験食品のグループ間でのクラック数の差を比較検討している。方法の詳細は論文内容要旨の通りである。</p> <p>その結果、レジン床にアダムスクラスプと唇側線で維持する口腔内振動感知装置を使用することで直接的に破砕振動を計測ができ、我々が感じる食感により近い破砕振動を評価できることが明らかになった。これにより、破砕振動を用いて異なった食感を疑似的に与えられることが示唆された。</p> <p>審査委員は、本論文の研究結果を高く評価し、博士（歯学）の学位を授与するに値すると判断した。</p>	